

秋の御堂筋

注目バツグンのパレードに250人



10月17日、国際貧困根絶デーの日におおさか女性行進が21団体250人の参加でひらかれました。

うたごえでオープニングした出発集会は、色とりどりの風船や、タペストリー、カラフルなファッションで公園は華やかになりました。

主催者を代表して新婦人大阪府本部・会長の川本幹子さんが今年あらたに呼びかけ人を2人加えて18人に、世界と連帯してこの日を迎え、来年は大きな節目の年「貧困と戦争をなくし、核兵器のない世界」と経過をふくめてあいさつ。

よびかけ人からも

石田法子（弁護士）さんは、「新しい政権が誕生しましたが、民主党は憲法を変えてもいいと言う政党です。平和を求める私たちはしっかり今の政治の流れをみていきましょう」と。

渡辺和恵（いくの学園・弁護士）さんは、「1年に1回このパレードでお会いできるのはうれしいです。戦争をなくす、貧困をなくす、女性の地位向上を願ういくの学園の人たちはみなさんと同じ願いです。」

マリア・コラレス（宗教家）さんは、「いま世界中に貧困で苦しんでいる人たちがたくさんいます。ノーベル賞を受賞したオバマ大統領が呼びかけた「核兵器のない世界」をめざして共に頑張りましょう」とあいさつしました。

その後、海外から寄せられたアンライトさんからのメッセージなどを紹介、各団体からはなやかなアピールのあとパレードにうつりました。

沿道から手を振り、カメラも

宣伝カーからは「貧困なくしてニコニコ」「女性の賃金低くてプンプン」「憲法9条守りましょう」と、シュプレヒコール。手をふり、カメラをむけてエールをおくる場面も何度もありました。

自治労連の黄色いリボンを持つ「スマイル音頭」は、目を引き沿道のチラシの受け取りも一段とよくなりました

世界と連帯して

国連反貧困デーのこの日、世界中で取り組まれた貧困撲滅デーのパフォーマンス“STAND UP”（たちあがろう！）に呼応して、公園で「スタンドアップ」のパフォーマンスをしたのも今年の特徴です。（写真右下）

参加者からの感想

- *にぎやかで楽しかった！外国の人が何人も注目してカメラをむけ、手を振ってくれてうれしかった。（A）
- *初めて着物をきて参加しました。「わあ～にぎやか！スマイル音頭楽しかったので、みんなで踊りたかった」です。（W）
- *沿道の反応がすごくよく、特に外国の人に日本の女性の元気をアピールできたと思います。シュプレヒコールをもっとしたかった。（N）



第15回全労連近畿ブロック女性役員交流会 10月22日（木）

参加は兵庫・京都・和歌山・大阪の4地方7人でした。

京都からは「超過勤務是正裁判」が大阪高裁で京都市の損害賠償を認める画期的な判決がされた報告と、引き続き支援の訴えがされました。また京都府男女共同参画課主催のワークショップで女性部として「国連女性差別撤廃条約と私たち」と題して全労連女性部常任の小澤さんと呼んで学習会を開催！府職労女性部では日本母親大会で大好評だった「京・西陣の歴史と町屋めぐり」を企画、講師の古武さんの連絡先も教えていただいたので興味のある方はご連絡下さい。

和歌山は農協「JA グリーン日高」の女性パート職員が「セクハラ裁判」で、労災申請を行っている支援要請がありました。また昨年末にセクハラ・パワハラアンケートを行なった実態をもとにニュースなどで啓蒙活動を積極的に行なっています。大会では「新たな保育制度のしくみ」の学習会を行いました。女性の集まる場所ではいつも「学習とセット」が定着していますね。

兵庫は女性部の専従がいなくなって大変な事。働く女性の中央集会の報告がされました。

大阪は4人が参加。先日の女性部20回大会で副部長に選出された大阪労連専従の佐藤さんが初参加。「女性行進」の元気な報告と、橋下知事の職員攻撃メールに対して意見を述べた職員への攻撃、意見も何も言えないバックラッシュ体質に怒り心頭でした。「非正規のなかまのつどい」では250人が参加、ヘルパー労組連絡会・パート非常勤部会・派遣請負センターをあわせて「非正規部会」結成に向けて準備会を行うとの報告がされました。

次回の交流会は12月の中旬に日程調節をしてお知らせしますので、都合のつく方はぜひご参加下さい。

二宮厚美さんが講師です！

大阪労連女性部春闘討論集会 12月16日(水)18:45 国労会館大会議室

～女性部以外の方の参加も歓迎します～